

MODEL **CHA-7350H** 3.5/7MHz High-Power Ground Plane Antenna

**取扱説明書**

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

**安全にお使いいただくために**  
 ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しい使用方法でご使用ください。  
 この取扱説明書は必要なときにご覧いただけるよう、大切に保管してください。

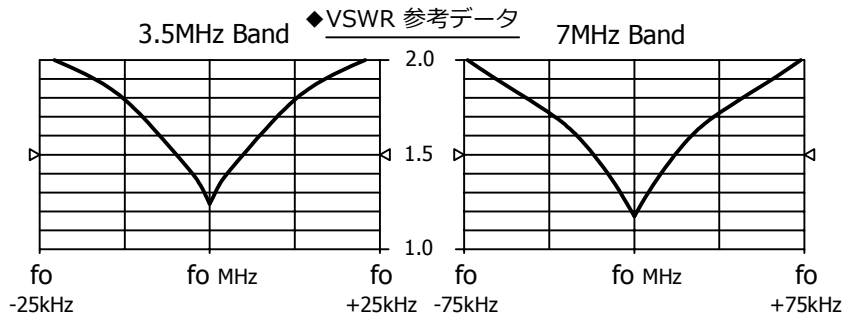
★組み立ての前に、下のパーツリスト通りに部品がそろっているかご確認ください。

**【特長】**

- 従来のGPアンテナと比較して広帯域な設計です。また、各バンドに専用ラジアルを設定しているため、各バンドの調整が容易です。
- 肉厚エレメントとステンレスねじ採用により、強度の向上と優れた耐候性を実現しています。
- 従来品の250W(SSB)から、耐入力1kW(SSB)に改良されました。

**【仕様】**

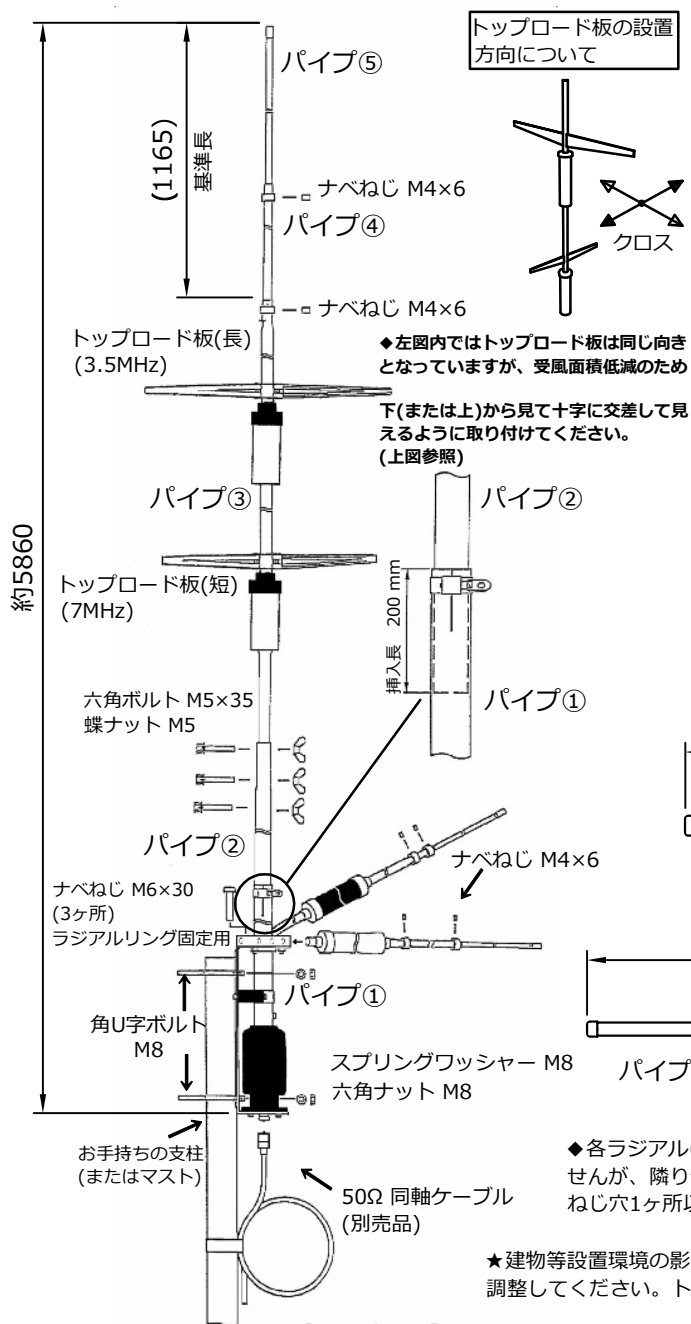
- 周波数：3.5～3.6MHz, 7.0～7.2MHz
- 種別：1/4 λ短縮 単一型GP
- 利得：2.15dBi ●耐入力：1kW(SSB)
- VSWR：3.5MHz帯 fo ±25kHz において2.0以下  
 7MHz帯 fo ±75kHz において2.0以下
- インピーダンス：50Ω
- コネクター：M-J型
- 取付マスト径範囲：Φ30～72mm
- 耐風速：30m/sec(※)  
 ※竜巻や突風等、急激な負荷によって破損する可能性がありますので、ステイロープの増設をおすすめいたします。
- 全長：約5.86m ●質量：約5.2kg



|    | パーツリスト                 | 数量 |
|----|------------------------|----|
| 1  | 給電部 (コの字金具・パイプ① 組立済)   | 1組 |
| 2  | ホースバンド (パイプ①に取付済)      | 1  |
| 3  | ラジアルリング                | 1  |
| 4  | 3.5MHz ラジアル            | 1組 |
| 5  | 7MHz ラジアル              | 1組 |
| 6  | パイプ②(パイプ①に挿入)          | 1  |
| 7  | パイプ③(トラップコイル付)         | 1  |
| 8  | トップロード板(短) 670mm       | 1組 |
| 9  | トップロード板(長) 720mm       | 1組 |
| 10 | パイプ④                   | 1  |
| 11 | パイプ⑤ (パイプ④に挿入)         | 1  |
| 12 | パイプ⑥ (3.5MHz用ラジアル)     | 1  |
| 13 | パイプ⑦ (パイプ⑥に挿入)         | 1  |
| 14 | パイプ⑧ (パイプ⑦に挿入)         | 1  |
| 15 | パイプ⑨ (7MHz用ラジアル)       | 1  |
| 16 | パイプ⑩ (パイプ⑨に挿入)         | 1  |
| 17 | 角U字ボルトM8(ワッシャー・六角ナット付) | 2組 |
| 18 | 六角ボルトM5x35(座金付), 蝶ナット  | 2組 |
| 19 | 自己融着テープ (20cm)         | 1  |

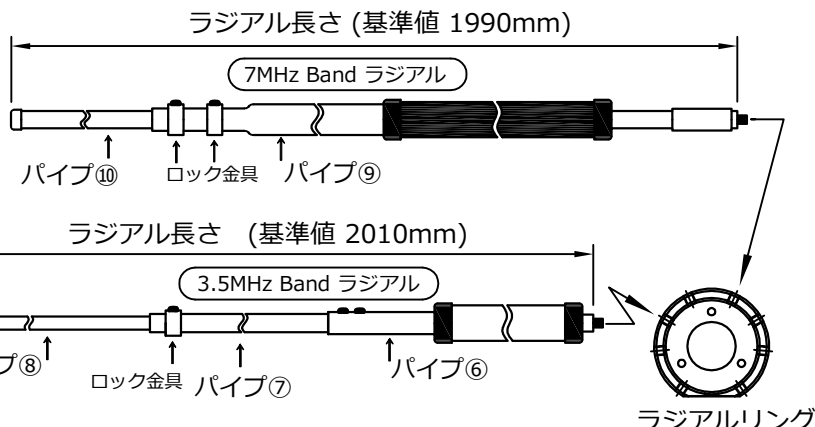
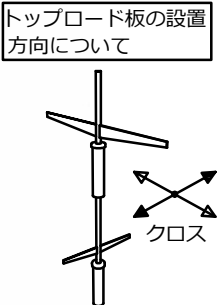
**⚠ 取付・設置上の注意点**

- 屋根の上など高所での作業時には、落下事故やけが防止のため、安全帽と安全帯を必ずご使用ください。
- 接続ケーブルのコネクタとアンテナのコネクタが同じ種類であることを確認してから接続してください。違う種類ですと、コネクタを破損する可能性が高いので注意してください。
- ねじ、金具類はしっかりと締め付けて固定してください。固定が不安定な場合、地震・車両の通過振動等で緩み、落下事故や電気特性不良の原因となります。
- 長期的な設置の場合、防水処理をしっかりと行ってください。防水処理に問題があると、ショートや腐食等の不具合原因となります。
- 他のアンテナ・高圧電線・鉄塔・高層建造物に注意して設置してください。近接物があると、アンテナの性能が十分に発揮できない可能性があります。



**【設置および使用方法】**

- I. 左図のようにパイプ①に挿入されているパイプ②を引き出し、200mm挿入した位置でホースバンドを締めて固定します。
  - II. パイプ③のローディング下部パイプのねじ穴位置を合わせ、六角ボルトと蝶ナットを使って2ヶ所固定します。
  - III. 最上段のパイプ⑤を引き出し、200mm挿入した位置でロック金具のねじM4×6で締めて固定します。
  - IV. パイプ⑤と④の合計長が1165mmになるように調整・挿入し、ロック金具のねじM4×6で締めて固定します。(左図参照)
  - V. 3.5MHz帯ラジアルの先端パイプ⑩を引き出し、下図の指定寸法となるよう位置を合わせ、ロック金具M4×6で締めて固定します。
  - VI. 7MHz帯ラジアルのパイプ⑨から⑩を引き出し、下図の指定寸法となるよう位置を合わせて、ロック金具のねじを締めて固定します。
  - VII. 各ラジアルのコイル部にある赤印部(水抜き穴)が下側になるようにラジアルリングに取り付け、六角ナットを締めて固定します。
  - VIII. お手持ちのポールに角U字ボルト、スプリングワッシャー、六角ナットを用いてアンテナを固定します。
  - IX. 市販品の50Ω同軸ケーブル(M-Pコネクター付き)を給電部のコネクターに接続し、自己融着テープで防水処理を行ってください。
  - X. アンテナの共振周波数とSWRを確認し、SWRが2.0以下(1.5以下を推奨)になっていることを確認したあとに運用を開始します。
- 出荷時の共振周波数は低めに設定しておりますので、3.5MHzトップロード板(長)をカットして3.5MHz付近に合わせ、7MHzは7MHzトップロード板(短)をカットして7.1MHz付近に合わせてください**



◆各ラジアルは、ラジアルリングねじ穴部のお好み位置に設置してかまいませんが、隣り合った場所ですとラジアル同士が干渉する可能性がありますので、ねじ穴1ヶ所以上空けた位置で設置してください。

★建物等設置環境の影響でSWRが変化する場合がありますので、そのときはパイプ④の挿入寸法などを変えて調整してください。トップロード板の切断による短縮も周波数を高めに移動させる効果があります。

\* 防水処理時の自己融着テープは元の長さの1.5~2倍に伸ばしながらテープ幅の半分が重なるように巻いていってください。長期設置の場合、耐候性確保のために上からビニールテープを巻いて保護してください。

【設置外観図】

**⚠ 使用上の注意**

- 送信時はアンテナに触れないようにしてください。特にハイパワー運用時はやけどの可能性があります。
- 雷発生時にアンテナや同軸ケーブルに触れると、直接雷や誘導雷で感電する可能性があります。被害を最小限にすることと無線機保護のため、雷が近づいてきた場合には配線類を外されることを推奨いたします。
- 仕様を超えるパワーでの運用は行わないでください。予期せぬ事故や故障の可能性があります。
- 調整を正しく行い、SWRを確認した上で運用してください。SWRが悪いまま使用されると、発熱や故障の可能性があります。
- ご自身での改造や修理は行わないでください。予期せぬ事故の可能性があります。

**【アフターサービス】**

- ・ 部品の紛失・修理・破損、および長期使用後の劣化交換用として補充部品を用意しておりますので、お近くの販売店等にご相談ください。
- ・ 厳重な品質管理において生産しておりますが、万が一不具合等がありましたら、ご購入いただいた販売店にご相談ください。

**【点検とお手入れ】**

- ☆異常と思われる現象が発生したとき、直ちに使用を中止してください。
- ★修理等につきましては、購入された販売店または弊社サービス担当までご相談ください。
- ☆定期的に、ねじ部の緩みおよび設置状況をご点検いただきますようお願いいたします。

■ 品質向上のため、予告なく仕様および外観を変更することがありますのでご了承ください。

**コメット株式会社**  
 〒336-0026 埼玉県さいたま市南区辻4-18-2  
 TEL : 048-839-3131(代) / FAX : 048-839-3136  
 URL : <http://www.comet-ant.co.jp/>